

Makuhari's Memory

充実感に満ち溢れた研修期間

「光陰矢の如し」。受付時に代表幹事に指名され、どうなることかと不安でいっぱいの中、初めは5日間もあると思っていた研修も、充実した日々を過ごす中であっという間に終わってしまいました。

今回の研修は、新型コロナウイルスの感染拡大や九州・中国地方での洪水という難しい情勢の中、北は北海道、南は熊本と全国の自治体から「住民行政事務能力の向上」の受講を目的に21名が集まりました。

講義では窓口サービスや戸籍届出、印鑑登録事務について、各市町村の課題等を持ち寄って議論を行いました。事務処理の方法は一つではなく、様々なアプローチの仕方があることを改めて痛感しました。また、課題演習においては、班ごとにテーマを設定し、毎日討議を重ねました。立場や年齢の違う中ですので、もちろん意見がまとまらないこともありましたが、座長の運営の下、真

摯に議論を重ね、最終的には素晴らしいプレゼンテーションを班全員で作成・発表することができました。

私自身はアカデミー終了後の初日に部署異動を告げられ、行き場のない思いに複雑な感情もありますが、ここで作ることのできた他市町村との絆は未来永劫続いていくものと確信しております。

最後に、このような情勢の中、研修を開催して下さいましたアカデミー職員や講師の皆様、そして、5日間寝食を共にした同期の皆様に感謝申し上げます。また全員にお会いできることを心待ちにしております。



片瀬 祐樹

神奈川県相模原市
中央区役所区民課主事
〈受講研修科目〉
住民行政事務能力の向上
第34期第1組（令和2年度）

